



# 迎賓館赤坂離宮開館40周年記念 迎賓館だより

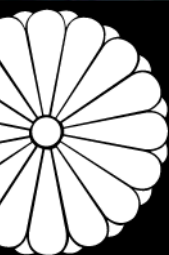


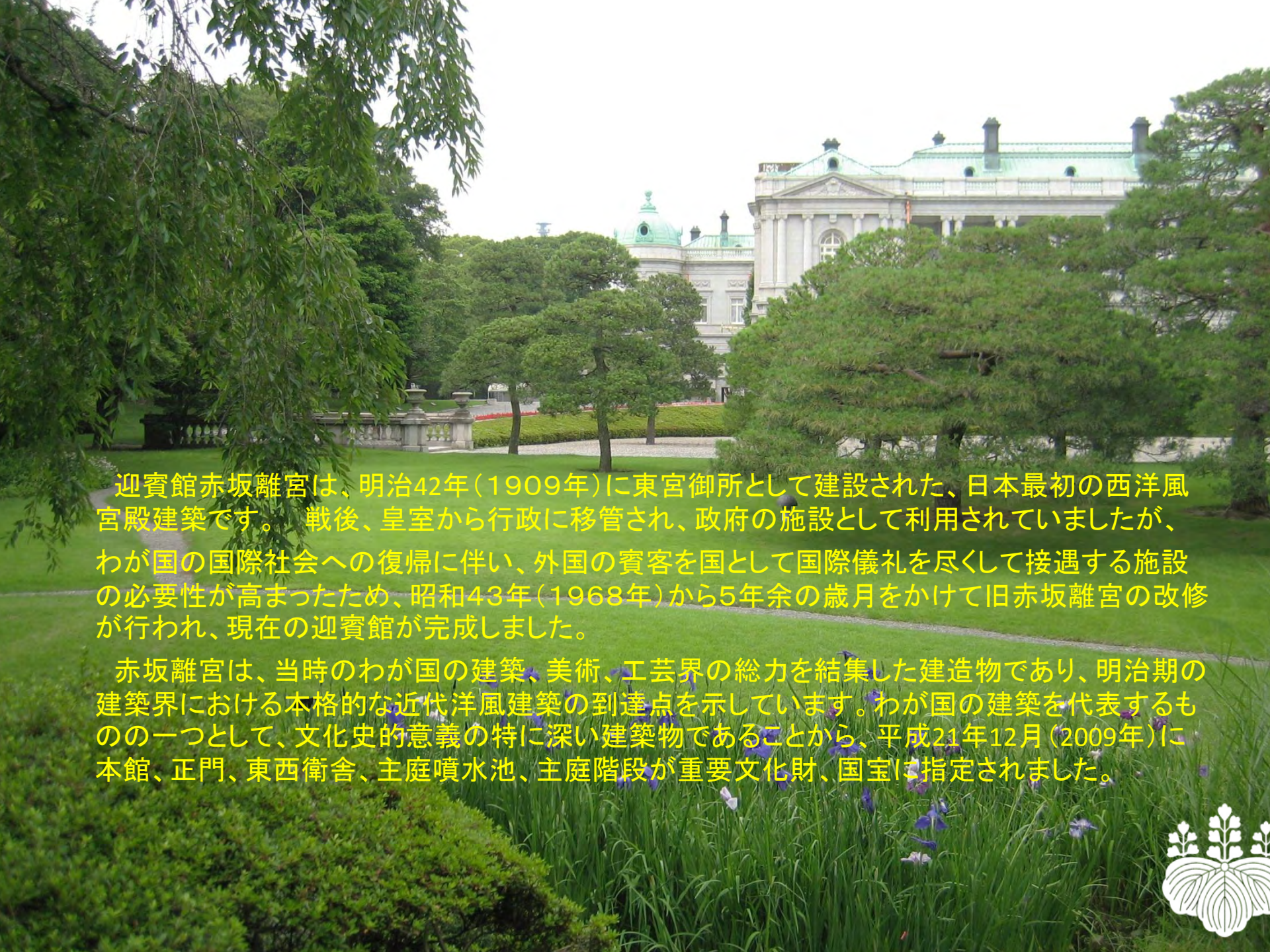
迎賓館赤坂離宮は、昭和49年4月(1974)に国賓等を迎える国の施設として  
総理府(現内閣府)に設置されました。

世界各国から国王、大統領、首相などを迎えたり、主要国首脳会議(東京サミット)などの  
国際会議が開催され、これらの行事は、開館以来約300回を数えています。

今年の参観(8月22日~8月31日)では、迎賓館開館40年を記念して「東の間」を特別公開  
します。

また、今後折にふれ、このような「迎賓館だより」をお届けしていきます。





迎賓館赤坂離宮は、明治42年(1909年)に東宮御所として建設された、日本最初の西洋風宮殿建築です。戦後、皇室から行政に移管され、政府の施設として利用されていましたが、わが国の国際社会への復帰に伴い、外国の賓客を国として国際儀礼を尽くして接遇する施設の必要性が高まったため、昭和43年(1968年)から5年余の歳月をかけて旧赤坂離宮の改修が行われ、現在の迎賓館が完成しました。

赤坂離宮は、当時のわが国の建築、美術、工芸界の総力を結集した建造物であり、明治期の建築界における本格的な近代洋風建築の到達点を示しています。わが国の建築を代表するものの一つとして、文化史的意義の特に深い建築物であることから、平成21年12月(2009年)に本館、正門、東西衛舎、主庭噴水池、主庭階段が重要文化財、国宝に指定されました。

